

2023(令和5)年度 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス デイきらり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室2室合わせて79.82㎡あります。一部静養スペースがあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準を満たす配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内はバリアフリーに配慮した設備となっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週初めや活動前後に少しの時間を利用し、話し合いの場を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケート調査を元に、保護者の方の意見を聞きながら、結果を職員間で共有し業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上に記載し、事業所内に掲示しています。ご希望があれば紙面でのお渡しも実施します。
適切な 支援の 提供	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は保護者の方の評価と事業所内評価のみです。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県主催の研修計画を参照し参加しております。事業所内での研修も実施しております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用開始時のアセスメントシートや面談、保護者の送迎時での会話、日々の様子からニーズを くみ取り個別支援計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間の行事計画を作成しています。日々の活動内容は、活動前後に確認しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせた活動を取り入れたり、1ヶ月の予定や行事に向けての準備、長期休暇での活動 など、内容を工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			主に集団活動を設定していますが、個々に応じた過ごし方や活動ができるように工夫して、個別支援計画を作成しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に打ち合わせを行い、当日の予定の確認を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に打ち合わせを行い、次の日の予定の確認や、お子様の様子などの気付きを確認し、支援の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			また、その内容を記録し、次の支援につながるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1回モニタリングを行い、サービス計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」それぞれ単体の支援になりがちであるため、複数組み合わせ合わせたプログラムを立てて行けるように工夫します。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			開催される場合には、児童発達支援管理責任者、担当者など適任者を選んで出席します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者や学校へお子様の様子を聞くなどし、情報共有を図っております。送迎に関しては、下校時間、送迎者の駐車場所など、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。今後受け入れる場合は体制を整えて行こうと考えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じて情報共有を行って行こうと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	開所1年目のため、学校を卒業した子どもはいません。今後卒業された場合は、必要に応じて情報提供等をする事ができます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現在、専門機関との連携がほとんどない状況です。機会があれば研修など受けることを考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		交流を目的とした活動は行っていませんが、清華学園園庭に学童の子ども達が遊んでいる時に一緒に遊ぶことはあります。また、17時以降保護者の迎えの時間の関係で、学童で待機し一緒に過ごす時間もあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			島原市子ども部会へ管理者が出席しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の送迎の時間や電話などで伝えるようにしています。必要に応じて個別に相談の時間も設けています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	職員でペアレント・トレーニングについての理解・知識を向上させることから始めたいと考えます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。不明点があれば随時職員が説明をするようにしています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			希望に応じ相談を受け付けて、時間を設けて対応しています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は発足していませんが、お茶会などを開催し、保護者の意見を聞いたり、保護者同士の親睦を図るように検討したいと思います。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付、担当者は重要事項説明書に記載していますが、まず申し入れがあった場合は、デイきりの職員で電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月1回通信を発行し、日頃の子ども達の様子や行事などを記載しています。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には十分配慮しています。同意を得たこと以外での使用はありません。掲示物にも配慮しています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			難聴で言葉が出ない子どもに対して、職員であいさつ程度の手話を覚えたり、身振り手振りや絵カードを掲示するなど工夫をしています。保護者の方とは送迎の時間を利用してコミュニケーションを図るようにしています。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	法人の行事(文化祭やこども園との運動会など)に地域の方々に参加をして頂いています。	
非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルについては、必要に応じて確認、見直しを行っていきます。事業所内に掲示しています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			5月、8月、12月に火災避難訓練を実施しました。1月には消防署立ち合いのもと、初期消火や人工呼吸などの訓練を受けました。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			8月に事業所内での研修を実施しました。今後外部研修への参加を考えています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に行うことを職員の共通認識とし、行なった場合は記録に残すことにしています。対象児童がいる場合は、個別支援計画に記載する体制があります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、食物アレルギーのあるお子様はいません。今後必要に応じて健康上の配慮点や注意点について、職員で定期的な確認と周知を行っていきます。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングにて事実確認と共有、今後の対策を協議しています。	